

川本工業株式会社のSDGsの取組み

☆ SDGs 体験学習

SDGs 体験学習と題した社内研修を2019年7月に実施しました。この研修ではSDGsとは何かを理解し、社員のSDGsの認知度を向上させると共に、会社とSDGsとのつながりを探ることを目的としました。グループワークを通じて事業活動がどのゴールに貢献するのか理解を深めることができました。



☆ 事業活動を通じた貢献（省エネルギー提案とリニューアル）

私たちの省エネルギー提案は、国の補助金事業を活用して、既存の設備を省エネルギー効果の高い高効率機器へ更新するほかに、LED照明への取替、開口部に遮熱・断熱性能の高い窓ガラスやフィルムを追加することで施設に合った総合的な省エネ・省コストの提案を行っています。

国の補助金事業の申請支援では、当社提案分で2010年から2019年の10年間で累計約3,000世帯相当のエネルギー消費量を削減することができました。

また、建物の大規模改修工事や内装リニューアル、防犯設備や防災設備など住環境改修工事を含め建築総合リニューアル事業を手掛けています。



特別養護老人ホームの省エネ改修実施 冬季に38%の省エネ効果達成

日刊建設工業新聞 2020年11月20日 掲載（抜粋）

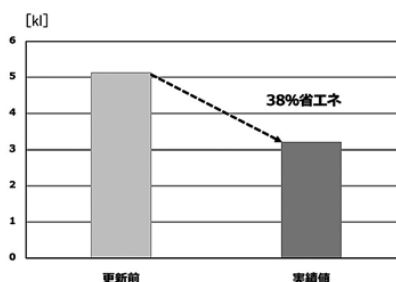
川本工業は、社会福祉法人K会の「特別養護老人ホームK荘」の省エネルギー改修を実施した。K荘は2000年に開所し、2005年に別館を開所。別館は竣工から14年が経過し、空調設備が老朽化し更新時期を迎えていた。同社は、「平成31年度エネルギー使用合理化等事業支援事業」補助金を利用して、2019年度に改修工事を行った。

更新設備は、ガスヒートポンプエアコンが屋外機7台、室内機38台、電気式パッケージエアコンが屋外機33台、室内機33台で、高効率機器への更新と運用の改善により、ガスと電気の原油換算で38%の省エネルギー効果（2月比）を達成した。

同社は、SDGsの掲げる持続可能な社会を実現するため事業を通じて貢献していく考えだ。



ガスヒートポンプエアコン



空調用エネルギー使用量比較（2月）



☆ 新しい生活様式に向けて

私たちはお客様のニーズにアンテナを高く張り、それぞれのお客様に必要なソリューションを提供しています。現在の福祉施設や病院では新型コロナウイルス感染症予防の対策に、これまで以上の取組みが求められ、その対策に悩んでいるお客様が多くいらっしゃいます。私たちは問題解決の一つとして陰圧装置による気流コントロールの他、室内のウイルスを除去するツールの提案を行っています。

施設を利用する多くの方々が安心してサービスを受けることができる環境を守っていきます。

